

J Aやつしろは「農業者の所得増大」と「地域の活性化」の2つを実践軸に、組合員の期待や地域住民から信頼されるよう、引き続き自己改革に全力で取り組んでいきます。

その実績として、J Aやつしろ活動総合3ヵ年計画(平成28年度～30年度)の中間年度にあたり、各部門の実績を抜粋してご報告いたします。(詳細については、各支所に備え置きの冊子をご覧ください。)

J Aやつしろ 自己改革の取り組みについて

重点実施事項	担当部署	実施具体策	基準年度 および現状	具体的展開方策(年度別)				達成目標
				28年9月末実績	29年9月末実績			
【営農指導・販売部門】								
1 「農業所得アップ運動」の実践								
(1) 生産部会や県連と連携した販売力強化	営農部	【販売品取扱高目標】	227億円(計画)	9,517 (百万円)	9,226 (百万円)			240億円(計画)
① 多様な販売方法への取り組み		① 買取販売の取り組み	取扱高2億円	10,837 (万円)	61,255 (万円)			取扱高4億円
② 県統一販売戦略に基づく県産農畜産物の輸出促進		② 輸出取扱高の拡大	輸取出扱高1000万	511万円	1,200万円			7品目3,000万円
③ 一元的な集荷販売体制の確立		③ 集・選果場の再編整備	露地野菜集荷所 カントリー いちご集荷所 い製品集荷所 果樹選果場	検討会議開催 検討会議予定 PC稼動中 推進中 推進中	推進中 推進中 整備中 整備済み 整備中			再編整備 実施 再編整備 実施 再編整備 実施 再編整備 実施 再編整備 実施
④ 6次産業化による付加価値の拡大	営農部・総務部	④ 6次産業商品化の実施	品目数5品目	3品目開発中 梨・柚子ゼリー 梨ヨーグルト 梨柚子菓子パン	3商品 パスタ もちっぴざ 柚子入コンポート			8品目
(2) 品目別生産販売戦略の実践	営農部	【取り組み目標】	やまだわらの推進					
① 米		① 多収穫米の推進実施	面積0ha	3ha	15ha			面積20ha
② 露地野菜 (キャベツ・ブロッコリー・レタス)		【販売品取扱高目標】	キャベツ 数量1,500t	1,800t 予定	1,500t 予定			3,000t
		②-1 契約取引の拡大	レタス 面積57ha	57ha	58ha			70ha
		②-2 面積の拡大	ブロッコリー 作付調査回数2回	1回(11月上旬 2回目)	1回(11月上旬 2回目)			4回
		②-3 出荷予測精度の向上						
2 農業所得アップを実現する体制の構築								
(1) 営農指導体制の充実・強化	営農部	① 営農指導員数の確保	営農指導員数32名	32名	32名			32名
① 巡回指導体制の確保と資質向上対策								
(2) 地域農業の担い手に対し、「総合窓口担当者」としての訪問活動実施	営農部		訪問メイン強化	550件	550件			400件
① 生産現場のニーズに合った農家支援及び未利用・低利用担い手訪問		① 個人、大規模農家、農業法人未利用・低利用担い手への恒常訪問による利用推進						